

ITN	ITN 比較	各国 レイティング	全般的な競技レベル	サーブ	リターン	ベースラインゲーム	アプローチ/ネットプレイ	ネットプレーヤーをパスする
1	エリート		<ul style="list-style-type: none"> ATP/WTAランキングの保持者、または可能性のある者 国際水準のトーナメントに参加し、主たる収入がトーナメントの賞金であるワールドクラスのプレーヤー 大規模なプロトーナメントの経験がある 					
2			<ul style="list-style-type: none"> 相手の弱点を分析し、見極めることができる 戦略とプレースタイルを高度に洗練させたプレッシャーの状況で自信を持ったショットが打てる 通常、その国の上位ランキング者 	<ul style="list-style-type: none"> 1stと2ndサーブがプレッシャーのある状況で打てる、いつでも攻撃的に打てる 	<ul style="list-style-type: none"> フォア、バック両サイドの予測能力が強い 相手の準備動作、トス、バック、スイング、身体の位置から手がかりをつかめる 	<ul style="list-style-type: none"> プレッシャーのある状況で自身のショットが打てる フォアハンド、バックハンドで攻撃、逆襲、防衛を効果的にできる あらゆる種類のショットをプレーできる 	<ul style="list-style-type: none"> スライス、またはドライブのアプローチができる ネットでの争奪がよく、コートセンスが良い 効果的にアングルを使い、あるいは深くプレーできる 攻撃的なネットプレーができる スマッシュは、必ずウイナーである バックハンドオーバーヘッドスマッシュが強力 	<ul style="list-style-type: none"> 両サイド、そしてサーブのリターンでその場に応じて、上手くパスする 2ショット/バックハンド/コンビネーションを効果的に使える
3	上級者		<ul style="list-style-type: none"> 優れたショットの予測と優れたショットを有し、安定性、あるいはゲームの基本となる特質を持っている プレーヤーは、「試合巧者」、つまり、パーセンテージを高め、サーブ・リターンを必要とせずに打てる、あるいは、ショットボールでサーブ・リターンのエラーを引き出せる 	<ul style="list-style-type: none"> 攻撃的なサーブを持ち、ダブル・フォールが少ない 特に1stサーブのとき、攻撃的な組み立てをするために、パワーとスピン・サーブを効果的に使える 十分な深さ、スピン、そしてプレッシャーで強いリターンを打ち、あるいは、次のショットを組み立てるための2ndサーブを持つ 	<ul style="list-style-type: none"> 攻撃的そして、オフ・ベースなサーブ・リターンを、コントロールでき、深さ、スピンを混ぜて打てる 	<ul style="list-style-type: none"> フォアハンド・ストロークは、コントロール、深さ、スピンを併用し、強力 攻撃的な状況を作り出すためにフォアハンド・ストロークを使う 安定した攻撃ショットとしてバックハンド・ストロークを使う ほとんどのショットが十分な深さと、方向性を持つ タッチショットを習得している スピンの種類がある 	<ul style="list-style-type: none"> アプローチショットは、ベースと高い有効性をもって放たれる ほとんどのボールは、深さとベースと方向性を持って打球される 深い、難しいボールをプレーできる チャンスがあれば、ボレーは、ウイナーとして打球される スマッシュは、どこからでも打てる 安定性のあるミッドコートボレーを打球できる 	<ul style="list-style-type: none"> バックハンド・ショットが安定し、ベースと高い有効性を持って、バックハンド・ショットを打てる 攻撃的なドロブが打てる
4			<ul style="list-style-type: none"> 安定したプレーで、効果的に加減、スピンをかけ、ベース配分ができる 優れた予測、正しいフットワークができ、弱点をよくカバーできる ショットの深さをコントロールでき、相手に応じてゲーム・プランを変化させる 難しいショットに対して、正確であるが、1stサーブのパワーと正確性と2ndサーブのコースを打ち分けられる ダブルスにおいて、攻撃的なプレーができる 	<ul style="list-style-type: none"> 攻撃的なサーブを持ち、ダブル・フォールが少ない 特に1stサーブのとき、攻撃的な組み立てをするために、パワーとスピン・サーブを効果的に使える ショットがよい位置に落ちることが多い 	<ul style="list-style-type: none"> 網際で攻撃的なリターンができる ダブルスにおいて、普通にベースを返すことができる チップとドライブができ、チップとチャージができる 	<ul style="list-style-type: none"> 非常に安定した(自信ある)フォアハンド・ストロークを持つ スピードとスピンを効果的に使う 深さのコントロールはあるが、あわてたり、プレッシャーがかかる、オーバーヒットする 中程度のショットでは攻撃的 バックハンドは、方向と深さをコントロールできるが、プレッシャーを受けつらくなる かなりスライスができる 	<ul style="list-style-type: none"> アプローチショットは、深く、コントロールされ、打球される 一連の選んだボールを振る バックハンドボレーで、深さと方向のコントロールが良い ポイントを決めるためにボレーとスマッシュを安定して打球できる タッチショットを習得し、フットワークに優れる だが、最も一般的なエラーは、オーバー・ヒッピング 	<ul style="list-style-type: none"> 防衛的、そして攻撃的なドロブを打てる かなり高い球速でネットプレーヤーをパスできる
5			<ul style="list-style-type: none"> 優れた安定性(固かなグラウンド・ストローク)、普通のショットでフォアハンド、バックハンド両サイドの方向と距離のコントロールができる ラリーは、長く、成功する コートカバリングを習得中で経験をつみ、眼前に注意を払うが、まだ優れたパーセンテージをプレーできない 時々、サーブのとき、サーブ・リターンのエラーを引き出せる ダブルスのチームワークで理解できる 	<ul style="list-style-type: none"> 1stと2ndサーブのプレッシャーが良い 1stサーブが、しばしばパワーフルである スピンを時折、使うことができる 	<ul style="list-style-type: none"> 位置できるサーブ・リターンができる シングルスで、深いリターン、ダブルスでいるいるようなリターンができる 	<ul style="list-style-type: none"> フォアハンド・ストロークは、安定し、中程度のショットは深さとコントロールできるが、プレッシャーのあるとき、コースの配分できない バックハンド・ストロークは、中程度のスピードで安定して、ボールの方向性が良い スピンを習得し、トップスピンとスライス両方を打てる 	<ul style="list-style-type: none"> ネットへ攻撃的なショットで前進する フォアハンド・ボレーの深さとコントロールがある バックハンド・ボレーの方向はいいが、一般的に深さを欠く 両サイドのワイドボレーと低いボレーを打球できるように習得中 簡単なスマッシュを処理できる ダブルスのボレーができる ポイントを決め始める 相手の弱点に打球する 	<ul style="list-style-type: none"> 難しいショットに対し、防衛的なドロブを打ち、攻撃的なポイントの組み立てを行う
6	中級者		<ul style="list-style-type: none"> 普通のショットの方向コントロールの安定性を持って、改良されたストロークを習得中だが、深さと、変化がまだコントロールできない コートカバーが上進しているが、前に出る時、まだためらいがある ダブルスのチームワークを習得中 	<ul style="list-style-type: none"> コントロール・サーブと、しばしばパワーサーブを開始 スピンを習得中 	<ul style="list-style-type: none"> 中程度のベースで方向性のコントロールのある安定したサーブ・リターンができる 	<ul style="list-style-type: none"> フォアハンド・ストロークは、極めて安定し、中程度のショットで変化をつけ、方向性が良く、スピンもプレーできる バックハンドは、中程度のショットで方向のコントロールをもって打球されるが、高く、そしてハードショットに対して、難がある、防衛的な返球となる バックハンドドライブかスライスの一方を細かく使う 	<ul style="list-style-type: none"> アプローチショットを習得し、ネットに出るチャンスを探し始める より攻撃的なネットプレー フォアハンド・ボレーの方向性を持ち、バックハンド・ボレーのコントロールはできるが、攻撃的でない ボレーでポイントを決め、ハーフボレーをプレーすることは難しい バックハンド・ショットは少しパワーで、かなりのフットワークができる 悪く範囲の安定したスマッシュ 	<ul style="list-style-type: none"> 高いベースのショットで、かなり安定したドロブを打てる 基本的なバックハンドショット能力を習得するが、バックハンドのパスが難しい

7

ITN	ITN 比較	各国 レイティング	全般的な競技レベル	サーブ	リターン	ベースラインゲーム	アプローチ/ネットプレイ	ネットプレーヤーをパスする
7	中級者		<ul style="list-style-type: none"> 普通のベースのショットにかなりの安定性をもつが、全てのショットをうまくプレーできず、方向性、深さ、パワーのコントロールを欠く シングルス試合は、ベースライン主体に行い、最も一般的なダブルスのフォーメーションは、一人が後衛、他の一人が前衛 	<ul style="list-style-type: none"> リズムを習得中だが、パワー・サーブのとき、不安定 2ndサーブは、1stサーブよりもかなり遅い 	<ul style="list-style-type: none"> かなりの安定性を持って大部分がコートの中央にリターンできる 	<ul style="list-style-type: none"> フォアハンドは、方向性に集中し、かなりの安定性を持つが、深さのコントロールに乏しい バックハンドは、中程度のショットでかなり安定し始め、多くのボールがコートの中央に方向づけられる 	<ul style="list-style-type: none"> プレーが要求するときに、ネットにアプローチするがそれを実行するために習得が必要 安定したフォアハンドボレーを持つが、バックハンドボレーの安定性を欠く ローボレー、ワイドボレーが難しい 時々、ポジションから外れ、大きすぎるスイングをしよう 	<ul style="list-style-type: none"> 中程度のショットでかなり安定したドロブを打ち、ドライブの代わりにサーブ・リターンにドロブを使う
8	レクリエーション プレーヤー		<ul style="list-style-type: none"> ボールがどこに飛ぶか判断することを学ぶが、コートカバリングは、まだかなり習熟する必要がある 両レベルのプレーヤーとプレーするとき、このプレーヤーは、かなりの安定性を持って、スローベースのショットプレーができる ダブルスのとき、初歩的なダブルスのポジションを維持できる 	<ul style="list-style-type: none"> フルスイングを試みる 1st、2ndサーブのベースの速いがほとんどない スローベースでボールをインプレーできる 安定したトスが重要 	<ul style="list-style-type: none"> スローベースのサーブに対しリターンができる 短いフォロースルーが多い 	<ul style="list-style-type: none"> フォアハンドのフォームが上進する プレーヤーは、中程度のベースのショットに対し、構えられ、準備される バックハンドグリップと準備の問題が、明らかで、プレーヤーは、バックハンド・ストロークよりもフォアハンド・ストロークを好んで選択する 	<ul style="list-style-type: none"> 必要に迫られたときだけ、ネットにアプローチする ある程度の自信を得るためにネット練習の時間が必須 特にバックハンドサイドのネットでの自信がなく、バックハンドボレーをプレーするとき、ラケット面のフォアハンドサイドを使ってしよう スマッシュのコンタクトができる 	<ul style="list-style-type: none"> ドロブを習得始めるが、コントロールに乏しい 相手のバックサイドにだけドロブを打つ傾向がある
9			<ul style="list-style-type: none"> コート上での経験が必要 ストロークは、時々、成功するが、ストローク力の弱さは、明らか シングルス、ダブルスのプレーで、基本的なポジションは取れるが、さらによりポジションをとる必要があり、まだ、ベースラインでのプレーを好む このプレーヤーは、試合のプレーに没頭する 基本的なルールとスコアのつけ方を学ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> サーブの動作が滑らかでなく、さらにコーディネーションが必要 網際でダブルフォールをする 	<ul style="list-style-type: none"> 無駄なエラーを減らすために安定したサーブが必要 フォアハンド・ストロークでリターンの大部分を行おうとする 	<ul style="list-style-type: none"> フォアハンドは、より複雑なスイングとより方向性への集中を必要とする バックハンドでプレーすることを選択 バックハンドサイドの技術的な問題(例: グリップ、スイング、コンタクト)を継続する 	<ul style="list-style-type: none"> アプローチショットとネットプレーに慣れていない もっぱらフォアハンドボレーに専念し、スマッシュのコンタクトの問題がある 	<ul style="list-style-type: none"> 初めてドロブを打つのが難しい パスに慣れていない、相手の正面に向かってボールを打つてしまう
10			<ul style="list-style-type: none"> このプレーヤーは、正式な大きさのコートで、ITF公認のボールを使用して、競技としてのプレー(サーブとリターン、ラリー)ができるようになる 					
10.1			<ul style="list-style-type: none"> プレーヤーは、動き、コントロールしてラリーができる 					
10.2			<ul style="list-style-type: none"> プレーヤーは、来たボールに対して、きちっと打球しながら、簡単なスキルのスキルを伝えるが、動きと、コントロールをしてラリーはまだできない 	<ul style="list-style-type: none"> ITN10.1からITN10.3までのカテゴリーは、通常練習された環境、つまり、小さいコートでやわらかいボールを使用する、あるいは適切な、プレーヤーに合ったラケットを使用する環境でプレーすることを含む 				
10.3	初心者		<ul style="list-style-type: none"> プレーヤーは、テニススキルの育成の初期段階で、単純なスキルのコーディネーション/エキササイズを初めて学ぶ 					

※ 旧レイティングの4.0は、ITNスタンダードでは6.0に相当する

※ 指導員養成講習会受講者の実技レベル目安は、ITNスタンダードで6.0程度あることが望ましい。

※ 上級指導員養成講習会受講者の実技レベル目安は、ITNスタンダードで5.0程度あることが望ましい。